

Case 6 小学生対象の電子回路ペンを使った
ワークショップ実施プロジェクト by 児童学科

電気の仕組みを実験・体験する
ワークショップ

相模原市印刷広告協同組合では、毎年5月に小中学校など諸団体の広報委員の皆様を対象に広報誌づくりの基礎学ぶ講習会を無料で開催しています。平成29年度で24回目を数えますが、平成27年度から、講習会に参加された保護者の子どもたちを対象に「電子回路ペン」を使って電気の通る仕組みを実験・体験するワークショップを企画しており、そこに本学児童科学生が子どもたちの先生として参加しています。



プロジェクト概要

●テーマ

「電子回路ペン」を使って電気の通る仕組みを実験・体験するができる、子ども対象のワークショップを企画・運営する。

●パートナー

相模原市印刷広告協同組合
神奈川県中小企業団体中央会

●担当教員

田尻さやか 助教

●実施期間

2015年5月～2018年3月

電気の仕組みを実験・体験する
ワークショップ

子どもたちが試行錯誤して作った「ペットドーム」は学生たちが身近なものでLEDの光を魅力的に感じられ、楽しめるように考えた教材です。私たちの想像をはるかに超えた個性豊かな作品が集まりました。さらにその「ペットドーム」を1か所に集めて、クラス全員30名のLEDをつけると理科室が幻想的なブランタリウムに大変身！その光景を子どもたちと喜び合い、別れを惜しみつつも、学年たちは、将来教壇に立つことを夢で終わらせず、現実のものにしようと再確認して取り組みは終わりました。

Case 6

小学生対象の電子回路ペンを使った ワークショップ実施プロジェクト

